

平成27年1月29日

日清製粉グループ 第3四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

当第3四半期連結累計期間は売上高3,875億円、経常利益200億3百万円。

[平成27年3月期第3四半期連結累計期間決算]

(株)日清製粉グループ本社(社長:大枝 宏之)の平成27年3月期第3四半期連結累計期間につきましては、政府の景気対策等の効果もあり、企業業績や雇用環境の改善がみられるなど、緩やかな景気回復の動きがみられました。一方、消費税率引上げに伴う個人消費の伸び悩みに加え、日本銀行の追加金融緩和等により円安が進み、輸入原材料価格が上昇する等、当社を取り巻く環境は厳しいものとなりました。このような中、当社は、トップライン(売上高)の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とした中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」の取組みを進め、グループ各事業において、市場の活性化に向け積極的な新製品の上市・拡販に取り組むとともに、国内外で事業基盤強化に努めました。国内では、全社的なコスト競争力強化を推進し、製粉事業において臨海大型工場への生産集約を進めております。食品事業においても、市場が拡大する冷凍パスタの生産・供給体制強化のため、新たに冷凍食品工場の建設を進めております。海外では、米国での製粉4工場買収、ベトナムの調理加工食品工場本格稼働、トルコのパスタ工場建設等、各施策が順調に進捗しております。

これらの結果、第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は海外事業の拡大及び国内外での拡販により、3,875億円(前年同期比104.7%)となりました。一方、利益面では、全社的なコスト削減に取り組ましましたが、原材料コストの上昇、拡販施策費の増加及び製粉福岡工場の減価償却費の増加等により、営業利益は157億59百万円(前年同期比88.5%)、経常利益は200億3百万円(前年同期比97.4%)、四半期純利益は130億98百万円(前年同期比106.5%)となりました。

なお、平成26年10月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。平成27年3月期期末配当予想につきましては、株式分割に伴う1株当たりの配当金の調整は行わないため、実質増配となる予定です。

[平成27年3月期通期連結業績予想]

我が国の経済は、企業業績の回復傾向や雇用情勢の改善等、緩やかな景気回復の動きがみられます。一方、当社を取り巻く環境は、円安による輸入原材料価格上昇等により、引き続き厳しいことが予想されます。このような環境の下、当社は、各事業においてお客様のニーズに応えた製品の開発や広告宣伝活動等の販売促進施策及び生産性向上等のコスト削減に取り組むとともに、引き続き海外事業の拡大を推進してまいります。

平成27年3月期の業績見通しにつきましては、平成26年10月に公表の通り、売上高は5,300億円(前期比106.9%)、営業利益は200億円(前期比89.8%)、経常利益は240億円(前期比93.8%)、当期純利益は152億円(前期比100.7%)としております。

以上